

## 第7章

# 環境マネジメントシステム の運用

# 第7章 環境マネジメントシステムの運用

## 第1節 環境マネジメントシステムの運用

### 1 これまでの経緯

当局では、平成10年5月、地球環境保全に向け、さらなる快適な水環境の創出をめざす下水道の役割と取組方針を明確に示すため、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を取得することを決定しました。

平成11年7月の有明、落合及び中野の3水再生センターでの認証取得に始まり、各部門・部所へ順次拡大した上で、平成14年12月に1つのシステムに統合し、ISO14001を認証取得しました。

この過程で、職員の環境に対する意識が大きく向上するとともに、環境負荷の低減において、様々な成果を得ることができました。

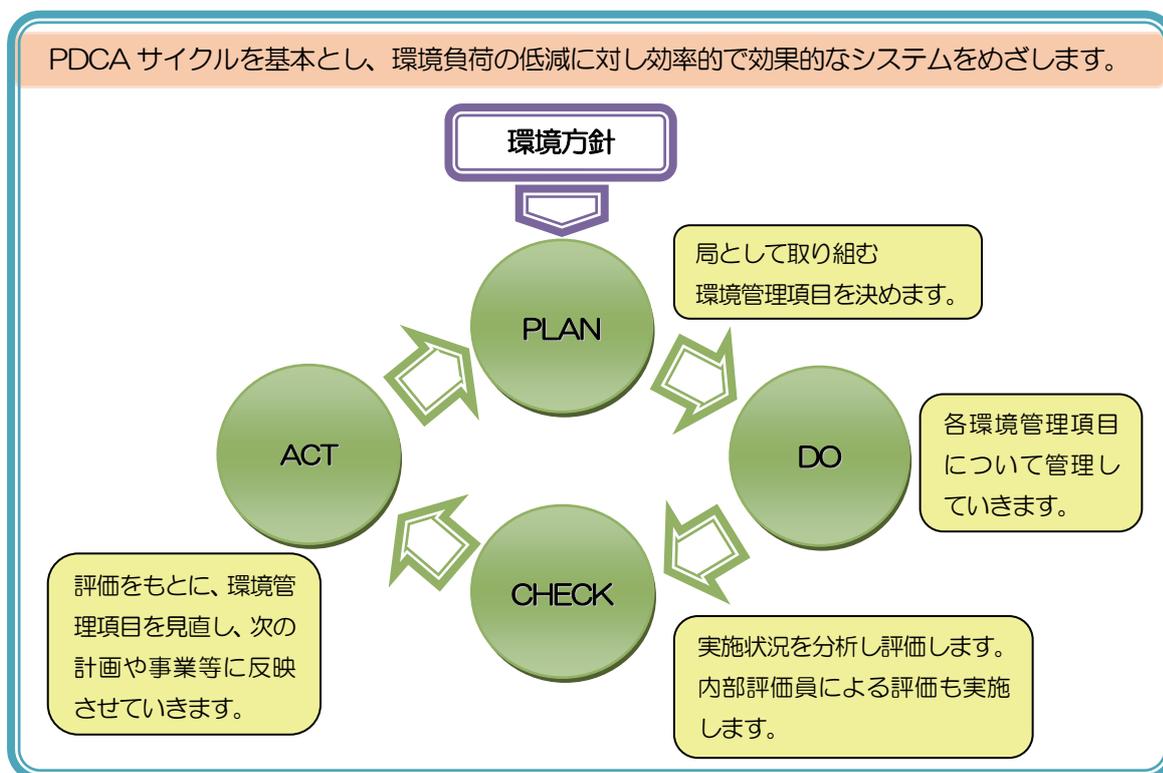
これらの成果を受け、これまで培われた経験をもとに、さらに当局の事業にあった効率的で効果的な環境負荷低減の取組を行うため、平成20年12月6日以降は認証を更新せず、平成21年4月からは、PDCAサイクルを基本とした当局独自の新しいマネジメントシステムを構築し、運用を行っています。

### 2 環境マネジメントシステムの運用概要と体系

当局の環境マネジメントシステムはPDCAサイクルを基本とし、取り組むべき項目を環境管理項目として決定し、管理を行っています。これについては各部、所で実施状況を定期的に分析し、評価するとともに、局内の評価員（内部評価員）による評価もあわせて行っています。

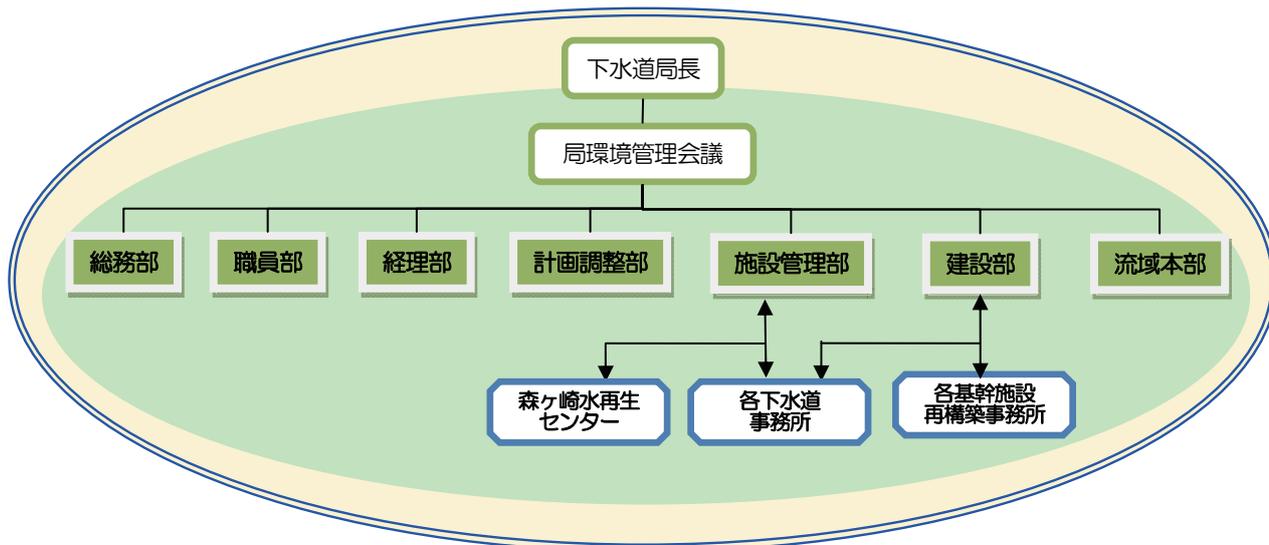
これらの評価結果を局環境管理会議にて取りまとめ、毎年システムや環境管理項目の見直しを継続的に行っています。

図表7-1 環境マネジメントシステムの運用イメージ



●システムの名をエコ・スクラム（ECO-SCRUM Sewerage-Bureau Clean and Recyclable United Management System）と名付け、職員が一丸となって環境負荷の低減に取り組んでいます。

図表7-2 環境マネジメントシステム体系図



3 今後に向けて

平成22年度には「経営計画2010」との整合を図り、環境方針の見直しを行いました。また、環境管理項目も良好な放流水質の確保やアースプランに基づく温室効果ガスの削減など9項目を局として取り組む環

境管理項目として設定しました。今後も、この新しいシステムに基づき、継続的な環境負荷低減を図るとともに、各部署の創意工夫を尊重しつつ、当局一丸となって地球環境の改善に取り組んでいきます。

図表7-3 東京都下水道局環境方針

東京都下水道局環境方針

基本理念

東京都下水道局は良好な水環境を次世代へ引き継いでいくため、日々の事業活動を通して自然と調和した生活環境をお客さまである都民の皆さまとともに築いていきます。また、地球温暖化対策などに全力を尽くし、環境負荷の少ない都市の実現に貢献します。

基本方針

- 快適な生活環境の確保**  
安定的な汚水処理などに努め、快適な生活環境を確保するとともに、きれいにした水を川や海に放流することにより、公共用水域の水質を保全します。
- 地球環境保全への貢献**  
「アースプラン2010」に基づき事業活動から発生する温室効果ガス排出量を削減します。また、資源のリサイクルなどを進め、環境負荷の低減を図ります。
- 環境意識の高揚**  
環 境 への取り組みについて効果的な広報を行うことにより、お客さまである都民の皆さまとのコミュニケーションを活発に行い、お客さま、職員双方の環境意識の高揚を図ります。
- 継続的なシステムの改善**  
基本理念を実現するために、環境負荷の低減に向けて効率的で効果的な独自の環境マネジメントシステムを継続的に改善します。

2010年4月1日  
東京都下水道局長 **松田二郎**

図表7-4 局環境管理項目（平成23年度）

区分	分類	NO.	項目
A:管理・分析、改善を図る項目	快適な生活環境の確保	1	良好な放流水質の確保
		2	臭気の管理
	地球環境保全への貢献	3	アースプランに基づく温室効果ガスの削減
		4	汚泥処理に伴う温室効果ガスの発生抑制
		5	水処理に伴う電力使用による温室効果ガスの発生抑制
		6	環境に配慮した工場の推進 資源のリサイクル
		7	不正軽油使用の撲滅
B:環境管理活動をサポートする項目	環境意識の高揚	8	局内における各種意識高揚策の実施と情報の公開
		9	環境意識高揚のためのPR活動の実施